

いっしんれんたつ 一心練達

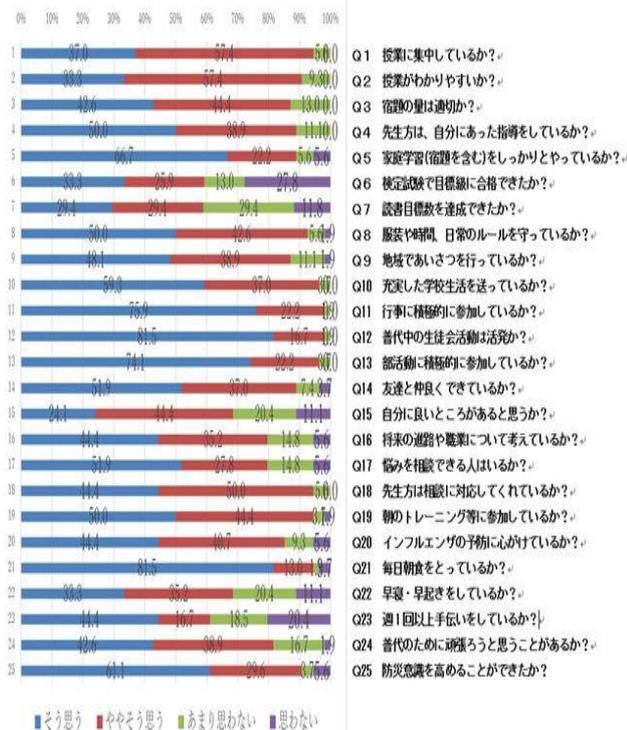
普代村立普代中学校
学校通信 No.2018-17
平成 31 年 1 月 21 日発行
Tel:35-2551 Fax:35-2557 心の教室:35-2126



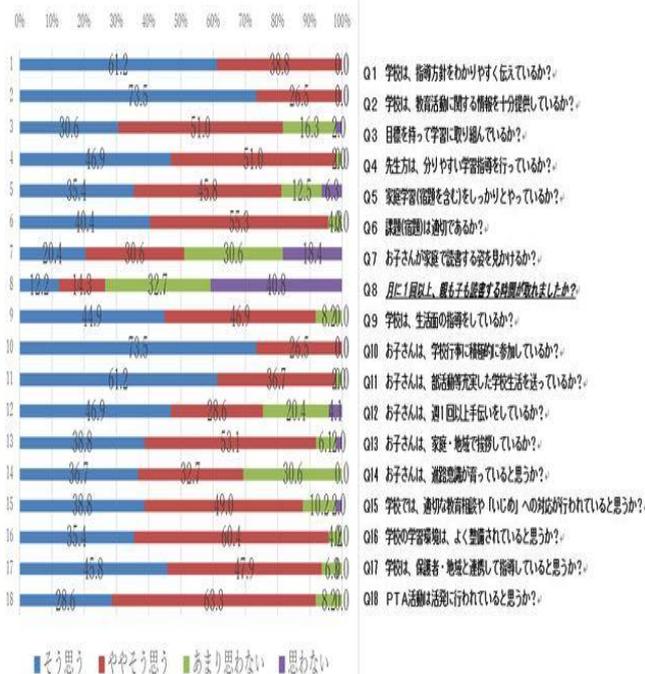
学校教育目標『生きる力を有し、ふるさと普代の復興・発展に寄与しようとする生徒の育成』
※ 生きる力(確かな学力・豊かな心・健やかな身体などの調和のとれた発達によって培われた力)

平成 30 年度学校評価アンケートから!

◇ 生徒・保護者アンケートの結果から 【生徒アンケート結果】



【保護者アンケート結果】



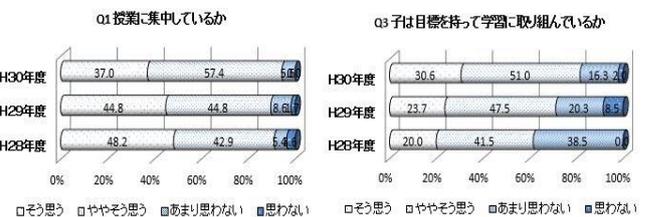
12月に行った学校評価アンケートの結果は学校のHPでも掲載しておりますが、3年間のアンケート結果の推移から良くなっている点や課題点について紹介いたします。

生徒・保護者のアンケート結果からは、総じて肯定的に本校の学校運営を評価していただいております。しかし、改善すべき点も明らかになってきておりますので、取り組めるものから早速取り組んで参ります。次年度も引き続き本校教職員が一致団結してさらに学校経営の質の向上を目指してまいります。

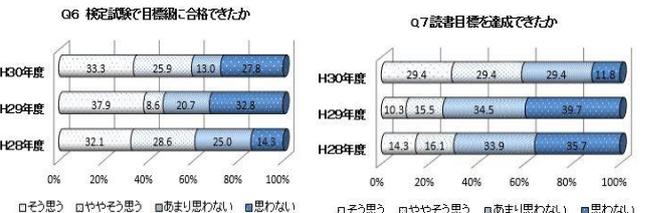
◇ 3年間の推移から見える成果と課題

(1) 確かな学力

「授業に集中している」「授業がわかりやすい」と肯定的に捉えている生徒が90%を超え、日々の授業を大切にしている普代中生の姿がみえています。保護者からの評価も上がってきています。今後とも先生方も生徒からの授業の評価から改善を行いながら、わかりやすい授業に取り組んでまいります。



しかし、学習した成果を試す「各種検定試験への挑戦」や「読書目標の達成」の項目は改善傾向は見られますが、まだまだ課題としていきたい部分です。忙しい中学生の生活実態については保護者からもご指摘いただいております。様々な活動時間の見直しを今後の検討課題としてまいります。

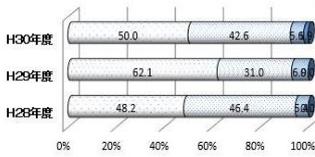


(2) 豊かな心

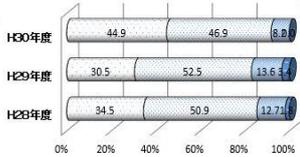
「服装や時間、日常のルールを守る」「学校は生活面の指導をしている」等日々の生活を大切に学校生活を送れていることがわかります。生徒会でも「普代中スタンダード」を作成し、また「オール5運動」を展開しながら更にはいい学校を作ろうと努力を重ねた結果とも言

えます。これからも保護者・地域の皆様にご支援いただきながら、生徒たちの学校生活がさらに充実するよう努力してまいります。

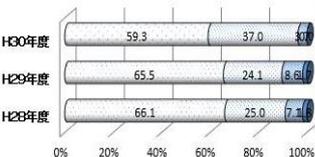
Q8 服装や時間、日常のルールを守っているか



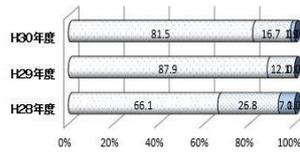
Q9 学校は、生活面の指導しているか



Q10 充実した学校生活を送っているか



Q12 普代中の生徒会活動は活発か

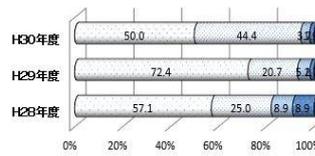


国から4147校がエントリーした毎日新聞社主催の「毎日カップ『中学校体カづくり』コンテスト」において、各種入賞校94校の内、**奨励賞7校に選出**されました。(岩手県からの入賞校は普代中学校1校のみ)

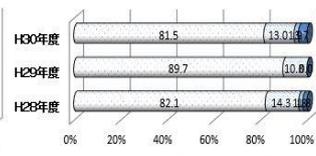


学校の取り組みだけでなく、青年期の体作りに欠かせない「毎日朝食を摂って登校する生徒」がほとんどという、ご家庭の協力のお陰でもあります。

Q19 朝外レニング等に参加しているか



Q21 毎日朝食をとっているか

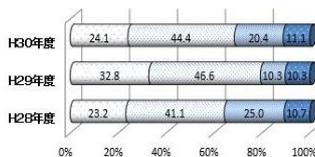


また、生徒の心の豊かさは各種作文コンクールでの入賞にも表れています。今年度は「社会を明るくする運動」作文コンテストで「県教育長賞」「県更生保護女性連盟会長賞」のダブル受賞。「全国中学生人権作文コンテスト」では2年連続の「宮古人権協議会長賞」と法務省人権擁護局長からの普代中学校が「感謝状」も贈呈されました。また、絵画でも全国中文祭出品が決まるなど多くの入賞を果たしています。

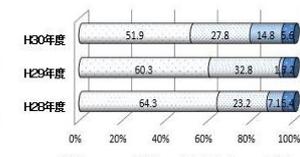


一方で、「自分に良いところがある」と自己肯定感をもてる生徒が7割ほどにとどまっています。進路意識の高揚やいじめのない良好な人間関係づくりは学校として重要な課題として今後も様々な教育活動を通じて育ててまいります。

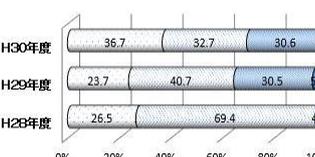
Q15 自分に良いところがあるか



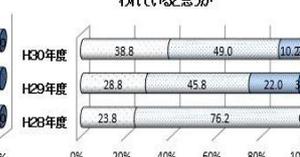
Q17 悩みを相談できる人はいるか



Q14 お父さんは、進路意識が育っていると思うか

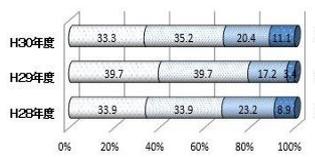


Q15 学校では、適切な教育相談やいじめへの対応が行われていると思うか

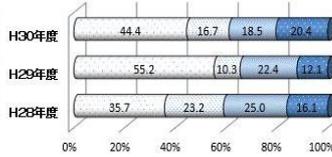


一方、忙しく時間に追われている中学生の実態から「早寝早起き」や「手伝い」の項目については課題があります。パソコンやタブレット、ゲーム機などの情報機器の利用時間と学習時間との兼ね合い、家族のだらんの時間等何を優先するべきか、親子で話し合っ確認しておきたいものです。

Q22 早寝・早起きしているか



Q23 週1回以上手伝いしているか



(3) 健やかな体

全校で取り組む朝・全校トレーニング、部活動、はまゆりマラソンへの取組等が定着してきています。その結果、文部科学省の実施要項に従って行われている「体カテストA・Bランク」の生徒割合がH27年の26.2%からH30年は**85.2%**まで増加しました。

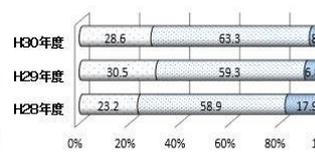
こうした取り組みや体育の授業実践が評価され、全

(4) PTA

一昨年度からPTA会員・地域の方々による校庭の草刈り・草取り等が行われ、良い環境で、生徒は思いっきり体育祭や陸上練習に取り組むことができました。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

一方、生徒も親も忙しく「本に親しむこと」には課題があります。「子どもと一緒に読書」は中学生では難しいので親も本に親しんでいる姿を見せることが大切と考えています。(「孟母三遷」という諺もあります)

Q18 PTA活動は活発に行われていると思うか



Q8 月1回以上、親も子ども読書する時間が取れましたか

